

## 【重要】第二段審査につきまして 審査資料（映像・音源他）提出のご案内

標題の件、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年度奨学生の募集 第二段審査（申請者と選考委員が対面形式で行う実技・面接審査）を予定通り実施できるとは必ずしも言えない状況となっており、映像審査に切り替える可能性も出て参りました。

つきましては、第一段審査通過者には対面での実技審査・面接実施可否に関わらず、以下の要領で第二段審査資料を提出頂きます。より詳しい内容につきましては、第一段審査結果通知の際に第一段審査通過者にご連絡する予定です。

### 資料提出期限

第一段審査結果通知日～2021年**2月9日17時（日本時間）**

※第一段審査の結果通知は、12月下旬を予定しております。

### 提出方法、提出資料など

（1）演奏映像の提出が必要な専攻…YouTubeへのアップロードにて提出

専攻	収録内容	制限時間	収録時期
①鍵盤楽器	申請者の演奏。申請者の顔と手元が常に映る角度で、楽器の右側（難しい場合は左側）からカメラの角度を固定して撮影したものであること。	7分以内	第一段審査結果通知日～2021年2月9日の間に収録されたもの
②弦楽器	申請者の演奏。申請者の顔と手元、弓を含む楽器が常に映る角度でカメラの角度を固定して撮影したもの。		
③管楽器	申請者の演奏。申請者の顔と手元、楽器が常に映る角度でカメラの角度を固定して撮影したもの。		
④声楽	申請者の演奏。申請者の顔と上半身が常に映る角度でカメラの角度を固定して撮影したもの。		
⑤指揮	申請者が指揮を振るリハーサルの様子及び通し演奏の指揮をしている様子。 (A) リハーサルの様子 ・指揮者と演奏者のやり取りを双方が映るように撮影したもの ・申請者の顔と上半身が3分以上映っていること (B) 通し演奏の様子 ・リハーサル、練習映像でないこと ・映像の一部に指揮者だけでなく、演奏者など指揮を振る相手も撮影したもの ・申請者の顔と上半身が3分以上映っていること	(A) 3分以上 5分以内  (B) 3分以上 5分以内  <合計> 6分以上 10分以内	2020年5月1日～2021年2月9日の間に収録されたもの

鍵盤、弦、管、声楽、指揮専攻の方は上記と合わせ、次の条件も守ること

- ・映像と音声は同時に収録すること（演奏中の手の動きと音が一致していない映像は不可とする）
- ・複数曲を演奏する場合は、原則通して演奏し1つの動画内におさめること。
- ・曲中、曲間での編集や加工は禁止（ただし、「第一音より前の空白」「最終音より後の空白」のカットのみのみ認めます）
- ・撮影するデバイスに音声ボリュームを自動調整する機能が付いている場合は、使用しないこと
- ・雑音が入らないよう注意すること（ただしやむを得ない環境音については配慮します）
- ・服装等は自由とするが、審査にふさわしいかどうかを意識すること
- ・演奏前後のお辞儀は映像に含めないこと

(2) 資料及び映像（音源・音声）データの提出が必要な専攻…メール等で提出

分野	提出内容	制限時間	収録時期
⑥作曲	申請者が作曲した作品の楽譜・映像（音源）データ 可能であれば演奏者の様子が分かる以下の映像を入れること ・楽器と手の動きが分かるもの ・特殊奏法が分かるもの	7分以内	指定無
⑦音楽学	申請者の研究予定内容をまとめたパワーポイントデータ（ナレーションを入れたもの）	8分以内	指定無

※映像審査に切り替えることが決定したわけではございません。実技審査・面接実施可否につきましては後日発表いたします。（ただし第二段審査資料は第一段通過者全員にご提出いただきますので、前もってご案内させていただいた次第です。）

※上記内容は、変更する可能性もございます。予めご了承ください。

※提出日切日の締め切り時間は17時（日本時間）ですので、ご注意願います。

※上記内容の、検討・決定過程についてのお問い合わせにはお答えしかねます。